2011x/2011s/2011xi
2211f/2211x
2311cm/2311f/2311x/2311xi
2511x
2711x
LCD モニター

ユーザーガイド

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における登録マークです。

Bluetooth はその所有者の商標であり、Hewlett-Packard 社は使用許諾を受けています。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

改訂第 3 版：2012 年 4 月

製品番号：619141-294

このガイドについて

このガイドでは、安全および保守、LCD モニターのセットアップ、ドライバーのインストール、オンスクリーンディスプレイメニューの使用方法、トラブルの解決方法、およびモニターの仕様について説明します。

警告！ その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

注意： その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

注記： 重要な補足情報です。

ヒント： ヒントは、役に立つヒントやショートカットを示します。

目次

1 製品の特長

LCD モニター

図 1-1 LCD モニター



HP 液晶ディスプレイ（LCD）では、LED バックライトを搭載したアクティブマトリクス方式の TFT 画面を採用しています。特長は以下のとおりです。

- 対角表示領域の大きな、ワイドディスプレイ
- 最大グラフィックス解像度
  - 2011x/2011xi/2011s：1600×900（60 Hz）
  - 2211f/2211x：1920 × 1080（60 Hz）
  - 2311cm/2311f/2311x/2311xi：1920×1080（60 Hz）
  - 2511x：1920 × 1080（60 Hz）
  - 2711x：1920 × 1080（60 Hz）
  - 上記の解像度以下でのフルスクリーンサポート（すべてのモデル）
- VGA（Video Graphics Array）入力信号
- DVI（Digital Visual Interface）デジタル入力信号（一部のモデルのみ）
- HDMI（High-definition Multimedia Interface）入力信号（一部のモデルのみ）
- 座った状態、立った状態など、さまざまな角度から画面を見やすくする上下左右の調整機能

- ゲームや動画の再生時に、より深い黒、より明るい白で優れた陰影効果を実現する DCR（Dynamic Contrast Ratio）
- オーディオケーブルが付属する、USB 電源供給機能付きの外付けスピーカー（一部のモデルのみ）
- プラグアンドプレイ機能（お使いのコンピューターシステムでサポートされる場合）
- 設定や画面の最適化を簡単にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による調節機能（英語、簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、日本語、ブラジルポルトガル語を選択可能）
- 省電力機能
- [Quick View]（クイック ビュー）設定により、さまざまな種類のコンテンツに基づいて画像を最適化
    - [Text]（テキスト）モード：電子メールおよび Web の参照用に最適化
    - [Movie]（動画）モードおよび [Game]（ゲーム）モード：動きのある映像を鮮やかに表示
    - [Photo]（写真）モード：画像の画質を向上
    - [Custom]（カスタム）モード：独自に最適化したプロファイルを作成可能
- HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）対応 DVI および HDMI 入力（HDMI は一部のモデルのみ）
- 以下の内容をソフトウェアおよびユーティリティ CD に収録：
    - ドライバー
    - 説明書

2　安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、必ず製品に付属している電源コードをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについては、34 ページの「電源コードの要件」を参照してください。

警告！　感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードのアースプラグを無効にしないでください。アースプラグは重要な安全機能です。電源コードはアースされた電源コンセントに差し込んでください。

・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト（http://www.hp.com/ergo/ から［日本語］を選択します）から参照できます。また、モニターに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

注意：　お使いのモニターやコンピューターを保護するために、コンピューターおよびその周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードを、サージ防止機能のあるマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止に失敗した場合はお使いの機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

HP LCD モニターを支えられる大きさの、適切な作業台に置いてください。

警告！　化粧台、本棚、戸棚、スピーカー、台車などに LCD モニターを置くと、モニターが倒れてけがをするおそれがあります。

LCD モニターに接続されたすべてのコードやケーブルは、引っ張ったり、つかんだり、つまずいたりしないように、適切に配置してください。

安全に関する注意事項

- 外部電源は、電源アダプターのラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、また電源コードに接続する機器の定格電流の合計が電源コードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（Amps または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。

保守に関するガイドライン

お使いのモニターの性能を向上させ、長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用するようにしてください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、電源アダプターのラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、また電源コードに接続する機器の定格電流の合計が電源コードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMP または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- モニターを使用していない時には、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用したりしていない時に電源を切るようにすると、モニターを長くお使いいただけます。

⚠ **注意：** 画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために用意されています。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の高熱や湿気にさらさないようにしてください。
- モニタースタンドを取り外す時は、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロントパネルを下にして置いてください。

モニターの清掃

⚠ **注意：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまい、電子部品が損傷するおそれがあります。

ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

1. モニターの電源を切ってモニターから電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布を使用して画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50：50 に混合した溶液を使用します。

モニターの運搬

モニターを運搬するときは、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

モニターを運搬する時は、以下の準備を行います。

1. 電源ケーブルおよびビデオケーブルをモニターから抜きます。
2. モニタースタンドの前面にあるボタンを押し（1）、モニターパネルをモニタースタンドから持ち上げて取り外します（2）。

図 2-1 モニターパネルの取り外し



3. モニターパネルを柔らかく安定した場所に置きます。

4. モニタースタンドの支柱を台から慎重に引き抜いて取り外し、別々にします。

注記： **2511x および 2711x モデルのみ**：台の底面にあるネジを緩め、支柱を台から取り外します。

5. モニター、支柱、およびモニタースタンドを出荷時の梱包箱に入れます。

3　モニターのセットアップ

モニターの梱包を解く

1. モニターの梱包を解き、内容物がすべて揃っていることを確認します。梱包箱は保管しておきます。
2. コンピューターおよびその他の接続された装置の電源を切ります。
3. モニターを設置するための平らな場所を準備します。設置準備の間、モニター画面を下向きにして置くために、平らで柔らかい、安全な場所が必要になる場合があります。

モニターの組み立て

モニターを、作業がしやすく通気のよい、コンピューターの近くの場所に置きます。モニターケーブルは、モニターを組み立ててから接続します。

注意： 画面は壊れやすいものです。LCD 画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

ヒント： 光沢のあるベゼルを持つモニターディスプレイの場合は、周囲の光や明るい表面からの反射で見えにくくなるおそれがあるため、ディスプレイの配置をよく検討してください。

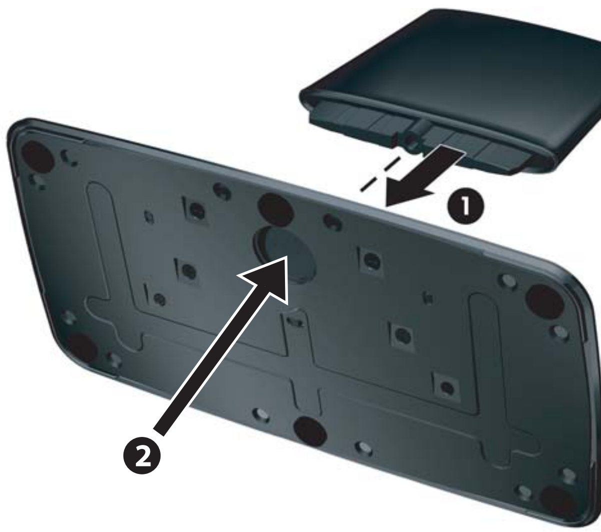
1. モニターのパネル面を下向きにして、表面が柔らかく平らで安定した机またはテーブルに置きます。

2. モニタースタンドの支柱を、カチッという音がして固定されるまでモニタースタンドの台に差し込みます ①。

注記： モニタースタンドの底面の形は、お使いのモデルによって異なる場合があります。

2511x および 2711x モデルのみ：台にネジを取り付け ②、支柱を台に固定します。

図 3-1 モニタースタンドと支柱の組み立て



3. モニターのヒンジブラケットをモニタースタンド上部の開口部に挿入します。完全に挿入すると、カチッという音がしてモニターパネルが所定の位置に固定されます。

図 3-2 モニターパネルの取り付け



モニターケーブルの接続

注意： ケーブルをモニターに接続する前に、コンピューターおよびモニターの電源がオフになっていることを確認してください。

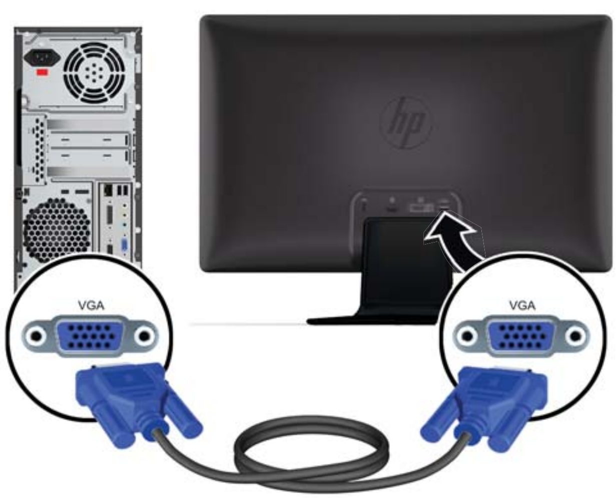
注記： DVI、VGA、または HDMI 信号を使用する場合は、オーディオ出力が外付けスピーカーに接続されている必要があります（一部のモデルのみ）。

ビデオソースは、使用するビデオケーブルの種類によって決まります。入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。ビデオ信号の入力を選択するには、フロントパネルにあるソースボタンを押します。

VGA ビデオケーブルの接続

VGA ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターの VGA ビデオコネクターに接続します。VGA ケーブルは一部のモデルに付属しています。

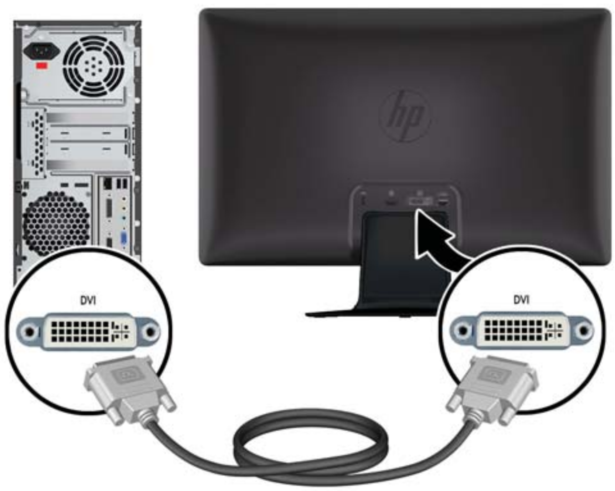
図 3-3 VGA ケーブルの接続（ケーブルは一部のモデルにのみ付属）



DVI-D ビデオケーブルの接続（一部のモデルのみ）

DVI-D ビデオケーブルの一方の端をモニターのリアパネルに接続し、もう一方の端をコンピューターの DVI-D ビデオコネクターに接続します。このケーブルを使用できるのは、DVI に準拠するグラフィックスカードがお使いのコンピューターに内蔵されているか、または取り付けられている場合のみです。DVI-D コネクターおよびケーブルは、一部のモデルにのみ含まれています。

図 3-4 DVI-D ケーブルの接続（ケーブルは一部のモデルにのみ付属）

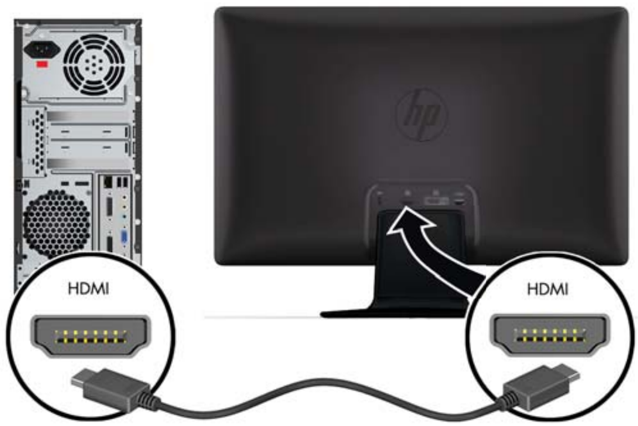


HDMI ケーブルの接続（一部のモデルのみ）

HDMI ケーブルの一方の端をモニターのリアパネルに接続し、もう一方の端のコネクターを入力デバイスに接続します。HDMI ケーブルは一部のモデルに付属しています。

注記： 外付けスピーカーまたはオーディオ受信装置に直接接続し、オーディオ信号が送信されるようにする必要があります。

図 3-5　HDMI ケーブルの接続（ケーブルは一部のモデルにのみ付属）



HDMI サウンドの再生

HDMI を使用して、外付けスピーカーが付属していないモデルのモニターに接続する場合は、Microsoft® Windows® の設定を調整することによって HDMI サウンドを有効にする必要があります。HDMI が有効になっていない場合、サウンドは再生されません。お使いのコンピューターの HDMI サウンドを有効にするには、以下の操作を行います。

1. Windows システムトレイの音量アイコンを右クリックします。
2. **［再生デバイス］**をクリックします。[サウンド] ウィンドウが開きます。
3. [再生] タブに表示されている HDMI 出力オーディオデバイスをクリックします。
4. **［既定値に設定］**をクリックします。
5. **［適用］**をクリックします。
6. **［OK］**をクリックしてウィンドウを閉じます。

電源コードの接続

1. 電気および電源に関する、以下のすべての警告に従います。

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードのアースプラグを無効にしないでください。アースプラグは重要な安全機能です。電源コードはアースされた電源コンセントに差し込んでください。

電源コンセントは、装置にできるだけ近く、手の届きやすい場所にあることを確認してください。電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。

電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。

詳しくは、29 ページの「技術仕様」を参照してください。

2. AC アダプターのコードの丸い端子をモニターに接続してから、電源コードの一方の端を AC アダプターに接続し、もう一方の端をアースされた電源コンセントに差し込みます。

⚠ **警告！** 正しくアースされた電源コンセントがない場合は、感電によるけがを防ぐため、必ず以下のどちらかを行ってください。(1) 正しくアースされた電源コンセントアダプターを使用します。(2) 正しくアースされた電源コンセントを設置します。

図 3-6 電源コードの接続



ケーブルマネジメントクリップの取り付け

入力ケーブルと電源コードをケーブルマネジメントクリップに通し、モニターの背面でまとめます。

図 3-7 ケーブルマネジメントクリップの取り付け



HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）（一部のモデルのみ）

お使いのモニターは HDCP をサポートしているため、高精細度コンテンツを受信できます。高精細度コンテンツは、ブルーレイディスク機器や、地上波またはケーブルテレビの高精細度放送などの多くのソースで使用されます。お使いのモニターが HDCP に対応していない場合は、保護された高精細度コンテンツを再生すると、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示されることがあります。保護されたコンテンツを表示するには、コンピューターのグラフィックスカードとモニターの両方が HDCP をサポートしている必要があります。

モニターの電源投入

1. コンピューターの電源ボタンを押して、コンピューターの電源を入れます。
2. モニターの前面にある電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。

⚠ **注意：** モニターに長時間*一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

* 長時間とは、12 時間以上継続して使用していない状態を指します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示され、モニター背面の電源ランプが緑色に点灯します。このメッセージには、現在アクティブな信号の入力、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ）、初期設定のソース信号、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

HP 2011xi IPS モデルおよび HP 2311xi IPS モデルのモニターは、非常に広い視野角と高画質を実現する IPS（In-Plane Switching）ディスプレイ技術で設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、静止画像、停止画像、または固定画像を長時間スクリーンセーバーを使用しないで表示するような用途には向いていません。そのような用途には、カメラによる監視、ビデオゲーム、マーケティングロゴ、画面に長時間表示されるテンプレートなどがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

1 日中使い続けたために画像の焼き付きが発生したモニターは、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときは常にモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、システムがアイドル状態になるとディスプレイの電源が切断されるようにします（システムでサポートされている場合）。

ビデオ入力コネクターの選択

入力コネクターには次の種類があります。

- VGA（アナログ）
- DVI-D コネクター（デジタル）（一部のモデルのみ）
- HDMI コネクター（デジタル）（一部のモデルのみ）

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画面を表示します。2 つの入力がアクティブな場合は、初期設定の入力ソースが表示されます。初期設定のソースがアクティブな入力に含まれていない場合は、アクティブな他の入力がモニターに表示されます。フロントパネルの Menu（メニュー）ボタンを押し、[**Source Control**]（ソース コントロール）→[**Default Source**]（初期設定のソース）の順に選択すると、OSD で初期設定のソースを変更できます。

角度の調整

画面を見やすくするために、次のように、好みに応じて上下の向きを調整します。

⚠ **注意：** 角度を調整しているときに LCD 画面に圧力をかけることは、故障や傷の原因になりますのでお止めください。

1. 上下の向きを調整している時にモニターが倒れないように、モニタースタンドを正面から押さえます。
2. モニターの最上部を手前または奥に動かして、上下の向きを調整します。この時、画面に触れないようにしてください。

図 3-8 傾斜角度調節



外付けスピーカーおよびオーディオケーブルの接続（一部のモデル）

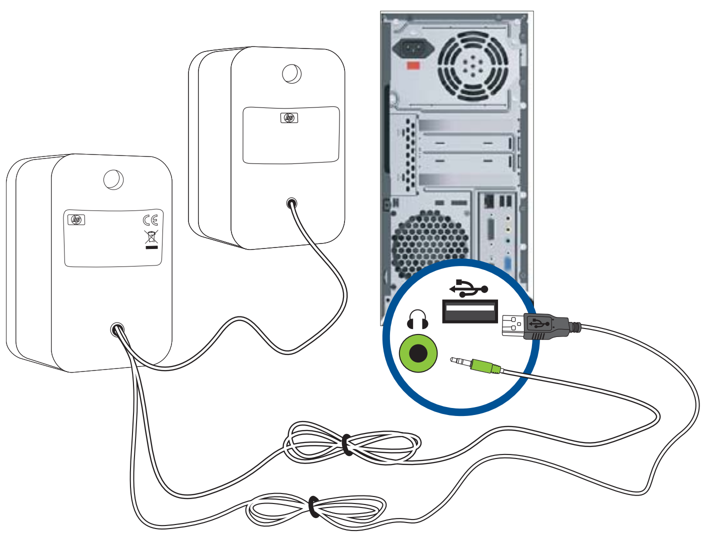
外付けスピーカーをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れます。

2. オーディオケーブルをコンピューターのオーディオスピーカーコネクターに接続し、USB 電源ケーブルをコンピューターの USB コネクターに接続します。

注記： コンピューターの音量調整機能を使用して、スピーカーの音量を調整します。

図 3-9 外付けスピーカーのオーディオケーブルおよび USB ケーブルの接続



注記： HDMI を使用してモニターに接続する場合は、Microsoft Windows の設定を調整することによって HDMI サウンドを有効にする必要があります。この章の前の方にある10 ページの「HDMI ケーブルの接続（一部のモデルのみ）」の手順を参照してください。

4 モニターの操作

CD ソフトウェアおよびユーティリティ

このモニターに付属の CD には、お使いのコンピューターにインストールできるドライバーおよびソフトウェアが収録されています。

ドライバーのインストール

ドライバーを更新する必要がある場合は、モニタードライバーの INF ファイルおよび ICM ファイルを CD からインストールするか、またはインターネットからダウンロードすることができます。

CD からのモニタードライバーソフトウェアのインストール

モニタードライバーソフトウェアを CD からインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CD をコンピューターの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカルドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
2. 言語を選択し [>>] アイコンをクリックします。
3. [**Install Monitor Driver Software**]（モニタ ドライバ ソフトウェアをインストールする）をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. [コントロール パネル] の [画面] の設定に、適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。詳しくは、Windows® オペレーティングシステムの説明書を参照してください。

注記： インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されたモニタードライバー（INF ファイルまたは ICM ファイル）を CD から手動でインストールすることが必要になる可能性があります。その手順については、CD の [Driver Software Readme]（ドライバーソフトウェアの Readme）ファイルを参照してください（英語のみ）。

インターネットからの最新ドライバーのダウンロード

最新バージョンのドライバーおよびソフトウェアファイルを HP サポートサイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. http://www.hp.com/support/ にアクセスします。
2. お住まいの国または地域を選択します。
3. [**ドライバー & ソフトウェア ダウンロード**] を選択します。

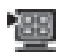
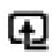
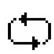
4. お使いのモニターのモデル番号を入力し、右側の矢印をクリックします。お使いのモニター用のソフトウェアダウンロードページが表示されます。

5. ダウンロードページに記載されている手順に沿って、ドライバーおよびソフトウェアファイルをダウンロードし、インストールします。

注記： お使いのシステムがインストール要件を満たしていることを確認します。

前面の各部

コントロールボタン（アイコンが表示されます）はモニターの右下にあります。

ボタン	アイコン	説明
Quick View（クイック ビュー）		OSD の [Quick View]（クイック ビュー）メニューが表示され、コンテンツの表示を向上したり、最適化したりする表示モードを選択できます
－（マイナス）ボタン	—	OSD メニューの項目間を下方向に移動したり調整レベルを下げたりできます
ソース		コンピューターからのビデオ入力ソースを選択します。2011s モデルではサポートされていません
＋（プラス）ボタン	＋	OSD メニューの項目間を上方向に移動したり調整レベルを上げたりできます
Auto Adjustment（自動調整）		このボタンを押すと、画像が自動的に調整されます **注記：** このボタンは、VGA 入力信号にのみ使用できます
OK	OK	OSD で選択したオプションを入力します
メニュー		OSD メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします **注記：** メニューボタンを 10 秒程度押し続けると、他の OSD のボタンの機能が無効になります。もう一度 10 秒程度押し続けると、機能が再び有効になります
電源ボタン		モニターをオンまたはオフにします。電源ボタンはモニターの右下にあります **注記：** 電源ボタンを 10 秒程度押し続けると、電源ボタンの機能が無効になります。もう一度 10 秒程度押し続けると、機能が再び有効になります

オンスクリーンディスプレイ（OSD）の使用

OSD を使用して、ユーザーの好みに応じて画面表示を調整します。OSD にアクセスするには、以下の手順で操作します。

注記： OSD は、モニターでの表示用に選択した入力信号が少なくとも 1 つ有効になっている場合にのみ利用できます。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。

2. OSD メニューを表示するには、Menu（メニュー）ボタンを押します。OSD のメインメニューが表示されます。

3. メインメニューまたはサブメニュー内を移動するには、モニターのフロントパネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。OK ボタンを押して、強調表示された機能を選択します。

4. 選択した項目のスケールを調整するには、＋ボタンまたは－ボタンを押します。

5. [**Save and Return**]（保存して戻る）を選択します。設定を保存しない場合は、サブメニューから [**Cancel**]（キャンセル）を選択するか、またはメインメニューから [**Exit**]（終了）を選択します。

6. Menu（メニュー）ボタンを押して OSD を終了します。

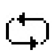
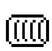
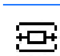
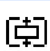
注記： メニューが表示されている時にボタンを押さずに 30 秒（出荷時の設定）が経過すると、調整した値と設定が保存され、メニューが閉じます。

OSD メニューの選択

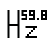
次の表で、オンスクリーンディスプレイ（OSD）のメニュー項目と各機能について説明します。OSD のメニュー項目を変更した後、メニュー画面に次のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]**（キャンセル）：前のメニューレベルに戻ります。
- **[Save and Return]**（保存して戻る）：すべての変更を保存して、OSD メインメニューの画面に戻ります。この [Save and Return] オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。
- **[Reset]**（リセット）：前の設定に戻ります。

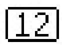
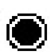
アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
	Brightness（輝度）		画面の輝度を調整します
	Contrast（コントラスト）		画面のコントラストレベルを調整します
	Color（色）		画面の色を選択します。工場出荷時の初期設定は 6500 K です
		Warm (5000 K)（暖色（5000 K））	わずかに赤味を帯びた白色に変更します
		Standard (6500 K)（標準（6500 K））	画面の色をイメージテクノロジー業界で使用される規格に準拠した色に設定します
		Cool (9300 K)（寒色（9300 K））	わずかに青味を帯びた白色に変更します

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Custom (RGB)（カスタム (RGB)）	カラースケールを選択および調整します • Red Color（赤色）: 赤色のレベルを設定します • Green Color（緑色）: 緑色のレベルを設定します • Blue Color（青色）: 青色のレベルを設定します
		Quick View（クイック ビュー）	以下のモードから選択します • Movie（動画） • Photo（写真） • Gaming（ゲーム） • Text（テキスト） • Custom（カスタム）（他の [Quick View] オプションで輝度、コントラスト、または色を調整した場合に保存される設定）
	Image Control（イメージ コントロール）		画像を調整します。
		Auto-Adjustment（自動調整）	画像を自動的に調整します **注記：** このボタンは、VGA 入力信号にのみ使用できます
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock] を調整することで、画像の水平表示も変更されます（VGA 入力のみ）
		Clock Phase（クロック フェーズ）	画面の焦点を調整します。これにより、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります（VGA 入力のみ）
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Custom Scaling（カスタム スケール）	モニターに表示される画像の表示方法を選択します。次の中から選択します ● Fill to Screen（スクリーンに合わせる）：画像が画面いっぱいに表示されます。画面の縦横比と異なる場合は、画像がつぶれて見えたり引き伸ばされたりします ● Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる）：画像が画面に収まるように表示されて、縦横比が維持されます
		Sharpness（シャープネス）	画像をくっきり見せるか、柔らかく見せるかを調整します
		OverDrive（オーバー ドライブ）（一部のモデルのみ）	[OverDrive] をオンまたはオフにします。工場出荷時の初期設定はオフです
		Dynamic Contrast Ratio（ダイナミックコントラスト比）	DCR 設定をオンまたはオフに設定します。工場出荷時の初期設定はオフです。DCR は、白と黒のレベルのバランスを自動的に調整することで、画像表示を最適にします
	OSD Control（OSD コントロール）		画面上の OSD メニューの位置を調整します
		Horizontal OSD Position（OSD 水平表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します
		Vertical OSD Position（OSD 垂直表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します
		OSD Transparency（OSD 透明度）	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します
		OSD Timeout（OSD タイムアウト）	最後にボタンを押してから OSD の表示が維持される時間の長さを秒単位で設定します。工場出荷時の初期設定値は 30 秒です
	Management（マネジメント）		モニターの電源管理機能を調整します
		Power Saver（省電力）	省電力機能を有効にします （25 ページの「省電力機能」を参照）。 以下のどちらかを選択します ● On（オン） ● Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Power-On Recall（再開時に電源オン）	予期せず電源がオフになった後にモニターへの電力を復旧します。次の中から選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Mode Display（モード表示）	OSD メインメニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュレートおよび周波数の情報を画面に表示します。次の中から選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Monitor Status（電源オンのステータス表示）	モニターの電源がオンになるたびに、モニターの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を次の中から選択します • Top（上） • Middle（中） • Bottom（下） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は上です
		DDC/CI Support（DDC/CI サポート）	コンピューターで、[Brightness]（輝度）、[Contrast]（コントラスト）、[Color Temperature]（色温度）などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。次の中から選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Bezel Power LED（ベゼルの電源ランプ）	電源ボタンのランプを点灯または消灯させます。オフに設定されていると、ランプは常に消灯したままになります

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		Sleep Timer（スリープ タイマ）	タイマー調整のメニューオプションを表示します • Set Current Time（現在の時刻の設定）：時間および分単位で現在の時刻を設定します • Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）：モニターがスリープモードに入る時刻を設定します • Set On Time（電源オンの時刻の設定）：スリープモードから復帰する時刻を設定します • Timer（タイマ）：スリープタイマー機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです • Sleep Now（スリープ モードの実行）：直ちにモニターがスリープモードに入るように設定します
	Language（言語）		OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
	Information（情報）		モニターに関する重要な情報を選択および表示します
		Current Settings（現在の設定）	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings（推奨設定）	お使いのモニターに推奨される解像度モードおよびリフレッシュレートを表示します
		Serial Number（シリアル番号）	モニターのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカルサポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		FW Version（ファームウェアバージョン）	モニターのファームウェアバージョンを表示します
		Backlight Hours（バックライト動作時間）	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support（サービス サポート）	サービスサポートを受けるには、http://www.hp.com/support/ を参照してください
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		設定を工場出荷時の設定に戻します
	Source Control（ソース コントロール）		ビデオ入力信号を選択します。工場出荷時の初期設定では、DVI、VGA、HDMI の順に優先されます

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
		DVI（一部のモデルのみ）	ビデオ入力信号として DVI を選択します
		HDMI（一部のモデルのみ）	ビデオ入力信号として HDMI を選択します
		VGA	ビデオ入力信号として VGA を選択します
		Default Source（デフォルトソース）	アクティブかつ有効な 2 つのビデオソースにモニターが接続されている場合に、初期設定または最優先されるビデオ入力信号を選択します。ビデオ方式は自動的に判断されます
		Auto-Switch Source（ソースの自動スイッチ）	システムの自動ビデオ信号入力のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオンです
	Exit（終了）		OSD メニュー画面を終了します

モニターの状態の確認

モニターが以下の状態になると、特別なメッセージがモニター画面に表示されます。

- **[Monitor Status]**（電源オンのステータス表示）：モニターの電源が入るか、入力ソース信号が変更されると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブな信号の入力、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ）、初期設定のソース信号、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。
- **[Input Signal Out of Range]**（範囲外の信号を入力しています）：解像度またはリフレッシュレートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターがビデオカードの入力信号をサポートできないことを示します。

  ビデオカードの解像度またはリフレッシュレートの数値を下げます。新しい設定値を有効にするには、コンピューターを再起動します。
- **[Power Button Lockout]**（電源ボタンのロックアウト）：電源ボタンがロックされていることを示します。電源ボタンをロックすると、**[Power Button Lockout]** という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - 電源ボタンがロックされている場合、ロックを解除するには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
  - 電源ボタンのロックが解除されている場合、ロックするには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
- **[Monitor Going to Sleep]**：モニターがスリープモードになることを示します。

- **[Check Video Cable]**：ビデオ入力ケーブルがコンピューターまたはモニターに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lockout]**：フロントパネルにあるメニューボタンを 10 秒程度押し続けると、OSD を有効または無効にできます。OSD をロックすると、[OSD Lockout]（OSD のロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - OSD がロックされている場合、ロックを解除するには Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けます。
  - OSD のロックが解除されている場合、ロックするには Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けます。
- **[Dynamic Contrast Ratio ON]**：DCR がオンになっていることを示します。
- **[Dynamic Contrast Ratio OFF]**：DCR が OSD でオフになっているか、OSD の [Brightness]（輝度）または [Quick View]（クイック ビュー）に変更が加えられた後に自動的にオフになったことを示します。
- **[No Input Signal]**：モニターがビデオ入力コネクターでコンピューターからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピューターまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。

省電力機能

モニターが通常の動作モードのときは、電源ランプは青白色に点灯し、モニターは通常の電力を消費します。電力使用量については、29 ページの「技術仕様」を参照してください。

このモニターでは、コンピューターによって制御される省電力モードもサポートされます。モニターが省電力状態になると、モニターの画面に何も表示されなくなり、バックライトがオフになり、電源ランプがオレンジ色に点灯し、モニターの使用電力が最小になります。モニターが省電力状態から復帰すると、短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。水平同期信号または垂直同期信号のどちらかが検出されない場合、モニターは省電力状態になります。モニターの省電力機能を有効にするには、コンピューターで省電力機能を有効にする必要があります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、お使いのコンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、パワーマネジメント機能、節電機能など、説明書により名称が異なる場合があります）。

注記： 省電力機能は、モニターが省電力機能を備えたコンピューターに接続されている場合にのみ動作します。

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	解決方法
電源ボタンのランプが点灯していない	電源ボタンを押してあり、電源コードがアースされた電源コンセントとモニターに接続されていることを確認します OSD メニューの［**Management**］（マネジメント）を選択し、［**Bezel Power LED**］（ベゼルの電源ランプ）を選択します。[Bezel Power LED] オプションが [Off]（オフ）に設定されていないかどうか確認し、設定されている場合は［**On**］（オン）モードに設定します
電源ランプが点灯していない（電源ランプは、モニター背面の電源プラグコネクターの横にあります）	モニターに電力が供給されていません。HP 認定のサポート窓口に問い合わせ、電源アダプターを交換します
画面に何も表示されない	電源コードを接続して、電源を入れます ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは 7 ページの「モニターのセットアップ」を参照してください キーボードのキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	Menu（メニュー）ボタンを押して OSD メニューを開き、輝度およびコントラストのスケールを調整します
画面に [Check Video Cable]（ビデオケーブルのチェック）と表示される	適切なビデオケーブル（VGA、DVI、または HDMI）で、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください **注記：** HDMI 入力は、一部のモデルでのみ利用できます
画面に [Input Signal Out of Range]（範囲外の信号を入力しています）と表示される	コンピューターを再起動し、セーフモードにします。設定値をサポートされている数値に変更します（31 ページの「プリセットビデオモード」の表を参照）。コンピューターを再起動し、新しい設定値を有効にします
画像がぼやけており、ゴーストや影が表示される	コントラストおよび輝度を調整します 延長ケーブルまたはスイッチボックスを使用していないことを確認してください。モニターをコンピューターのリアパネルのグラフィックスカード出力コネクターに直接接続することをおすすめします
モニターを最適な解像度に設定できない	グラフィックスカードが最適な解像度をサポートしていることを確認します グラフィックスカードでサポートされる最新のドライバーがインストールされていることを確認します。HP システムの場合は、http://www.hp.com/support/ からお使いのシステムの最新のグラフィックスドライバーをダウンロードできます。その他のシステムの場合は、お使いのグラフィックスカードの Web サイトを参照してください

トラブル	解決方法
ハイビジョンコンテンツを表示している時に、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示される	お使いのモニターとコンピューターが HDCP に対応しているかどうかを確認します。13 ページの「HDCP(High-Bandwidth Digital Content Protection)(一部のモデルのみ)」または http://www.hp.com/support/ を参照してください
オーディオが出力されない	スピーカーのオーディオケーブルと USB 電源ケーブルがコンピューターに直接接続されていることを確認します **注記：** 外付けスピーカーは、一部のモデルでのみ利用できます
プラグアンドプレイ機能が動作しない	モニターのプラグアンドプレイ機能が動作するには、プラグアンドプレイ機能に対応したコンピューターとグラフィックスカードが必要です。お使いのコンピューターの製造販売元に確認してください モニターのビデオケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します モニタードライバーがインストールされていることを確認します。詳しくは、17 ページの「ドライバーのインストール」を参照してください。モニタードライバーは、http://www.hp.com/support/ からも入手できます
画像が揺れたり、ちらついたり、波模様が表示されたりする	電気的な干渉を引き起こす可能性のある電気装置を、モニターからできるだけ離します お使いの解像度に対応した、モニターの最大リフレッシュレートを使用します
HDMI 接続時に音声が聞こえない	外付けスピーカーまたはオーディオ受信装置に直接接続し、オーディオ信号が送信されるようにする必要があります
モニターが常にスリープモード（オレンジ色のランプ）になっている	コンピューターの電源がオンになっている必要があります コンピューターのグラフィックスカードが所定のスロットにしっかりと差し込まれている必要があります モニターのビデオケーブルがコンピューターに正しく接続されていることを確認します モニターのビデオケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します お使いのコンピューターが動作していることを確認します。それには、[Caps Lock] キーを押し、ほとんどのキーボードにある Caps Lock ランプの状態を調べます。コンピューターが動作していれば、[Caps Lock] キーを押すたびにランプが点灯または消灯するはずです

HP Web サイトからのサポート情報の入手

カスタマーサービスにお問い合わせになる前に、http://www.hp.com/support/ の HP テクニカルサポートを参照してください。お住まいの国または地域を選択し、お使いのモニターのサポートページへのリンクをクリックします。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートのお問い合わせ先については、モニターに付属の冊子を参照してください。

テクニカルサポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号（モニター背面のラベルに記載されています）
- モニターのシリアル番号（モニター背面のラベルに記載されています。OSD の [Information]（情報）メニューからも確認できます）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生した時の状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラーメッセージ
- ハードウェア構成
- お使いのハードウェアおよびソフトウェアの名称とバージョン

製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには製品番号とシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

製品ラベルはモニターの背面にあります。

B 技術仕様

以下の仕様はすべて、HP の部品製造元から提供されている標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作とは異なる場合があります。

HP LCD モニター

表 B-1 2011x/2011s/2011xi の仕様

仕様	
ビデオ入力端子：	VGA か DVI、またはその両方
最大質量（非梱包時）：	3.4 kg（7.5 ポンド）
寸法（幅×奥行き×高さ）：	486.8 x 158.9 x 378.7 mm（19.16 x 6.26 x 14.91 インチ）
最大グラフィックス解像度：	1600 × 900（60 Hz）
最適グラフィックス解像度：	1600 × 900（60 Hz）
電源（アダプター）：	100～240 VAC（ca）
電源（モニター）：	12V dc

表 B-2 2211f/2211x の仕様

仕様	
ビデオ入力端子：	VGA、DVI、および HDMI **注記：** HDMI 端子は 2211f のみ
最大質量（非梱包時）：	3.5 kg（7.7 ポンド）
寸法（幅×奥行き×高さ）：	519.5 × 159 × 396.3 mm（20.5 × 6.3 × 15.6 インチ）
最大グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
最適グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
電源（アダプター）：	100 ～ 240 VAC（ca）、50/60 Hz
電源（モニター）：	12V dc、50/60 Hz

表 B-3 2311cm/2311f/2311x/2311xi の仕様

仕様	
ビデオ入力端子：	VGA、DVI、および HDMI

表 B-3　2311cm/2311f/2311x/2311xi の仕様（続き）

仕様	
最大質量（非梱包時）：	4.3 kg（9.5 ポンド）
寸法（幅×奥行き×高さ）：	558.0 × 159.0 × 416.5 mm（22.0 × 6.3 × 16.4 インチ）
最大グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
最適グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
電源（アダプター）：	100 ～ 240 VAC（ca）、50/60 Hz
電源（モニター）：	12V dc、50/60 Hz

表 B-4　2511x の仕様

仕様	
ビデオ入力端子：	VGA、DVI、および HDMI
最大質量（非梱包時）：	5.1 kg（11.3 ポンド）
寸法（幅×奥行き×高さ）：	605.0 × 184.4 × 442.2 mm（23.8 × 7.3 × 175.4 インチ）
最大グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
最適グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
電源（アダプター）：	100 ～ 240 VAC（ca）、50/60 Hz
電源（モニター）：	12V dc、50/60 Hz

表 B-5　2711x の仕様

仕様	
ビデオ入力端子：	VGA、DVI、および HDMI
最大質量（非梱包時）：	5.9 kg（12.9 ポンド）
寸法（幅×奥行き×高さ）：	470.9 × 184.4 × 654.0 mm（18.5 × 7.3 × 25.8 インチ）
最大グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
最適グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）
電源（アダプター）：	100 ～ 240 VAC（ca）、50/60 Hz
電源（モニター）：	12V dc、50/60 Hz

プリセットビデオモード

このモニターでは、多くのプリセットビデオ入力モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

表 B-6　2011x/2011s/2011xi の工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード

プリセット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640 × 480	31.5	59.9
2	720 × 400	31.5	70.1
3	800 × 600	37.9	60.3
4	1024 × 768	48.4	60.0
5	1280 × 720	45.0	60.0
6	1280 × 1024	64.0	60.0
7	1440 × 900	55.9	60.0
8	1600 × 900	60.0	60.0

表 B-7　2211f/2211x/2311cm/2311f/2311x/2311xi/2511x/2711x の工場出荷時のプリセット ビデオ入力モード

プリセット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640 × 480	31.5	59.9
2	720 × 400	31.5	70.1
3	800 × 600	37.9	60.3
4	1024 × 768	48.4	60.0
5	1280 × 720	45.0	60.0
6	1280 × 1024	64.0	60.0
7	1440 × 900	55.9	60.0
8	1680 × 1050	65.3	60.0
9	1920 × 1080	67.5	60.0

表 B-8　工場出荷時の HDMI 高解像度プリセットビデオモード（一部のモデルのみ）

プリセット	HD ビデオ表示の解像度	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	480p	720 × 480	31.5	60
2	720p60	1280 × 720	45	60

表 B-8 工場出荷時の HDMI 高解像度プリセットビデオモード（一部のモデルのみ） （続き）

プリセット	HD ビデオ表示の解像度	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
3	576p	720 × 576	31.3	50
4	720p50	1280 × 720	37.5	50
5	1080p60	1920 × 1080	67.5	60
6	1080p50	1920 × 1080	56.3	50

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送信される信号によって、プリセットモードには存在しないモードが呼び出されることがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 工場出荷時のプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイメニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいすべての工場出荷時のプリセットモードに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードは工場出荷時プリセットモードと同様に自動的に認識されます。また、10 種類以上のユーザーモードを登録して保存できます。

電源アダプター

表 B-9 電源アダプター

製造販売元	モデル番号
TPV Technology Group	ADCP1236
LiteOn	PA-1041-03TA-LF、PA-1041-0
ADP, Asian Power Devices, Inc.	DA-36N12、DA-50F19
Delta	ADP-40DD B シリーズ

LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

お使いの LCD モニターは、故障のない高い性能を保証できるようにするため、高度な規格に基づいて製造された高精度のテクノロジーを採用しています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、または黒点が現れる場合があります。これはどのメーカーから提供される LCD モニターディスプレイにも共通するものであり、お使いの LCD モニターに特有の問題ではありません。

1 ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル 1 つずつから成ります。輝点はピクセル全体が常に点灯しています。（暗い画面でも輝点が表示される）。黒点は常に消灯しています。（明るい画面でも暗点

が表示される)。同様にサブピクセル単位でも輝点、黒点が存在する場合があります。サブピクセル単位の輝点、黒点は小さく見えにくいため、特定の画面背景上でのみ確認できます。

輝点および黒点のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュレートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。業界での技術改良が進み、輝点および黒点が少ないディスプレイが生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。

お使いの LCD モニターおよびピクセルに関する方針について詳しくは、HP の Web サイト http://www.hp.com/support/ を参照してください。HP の Web サイトでピクセルに関する方針の情報（英語のみ）を探すには、検索ボックスに「HP Pixel Policy」と入力して [Enter] キーを押します。

C　規定に関するご注意

ご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電源コードの要件

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニターは 100 ～ 120 V または 200 ～ 240 V の AC 電圧で動作します。

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.75 mm^2/18 AWG 以上、長さは 1.8 ～ 3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクターの取り扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

⚠ **注意：**　付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

国際エネルギースタープログラムへの準拠

エネルギースターの認定マークが貼付されている HP のディスプレイは、米国環境保護局（EPA）のエネルギースタープログラムに準拠しています。エネルギースターの認定マークは、EPA によって承認されているものではありません。当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムのディスプレイの省エネルギー基準に適合していると判断します。

以下のマークは正規のエネルギースター認定のすべてのディスプレイに付けられています。

ディスプレイおよびコンピューター用のエネルギースタープログラムの仕様は、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として作成されたものです。このため、HP の製品には、Microsoft® Windows の電源管理機能によって、製品を使用していないときにエネルギー消費を削減する省電力機能が搭載されています。

電源管理機能によって、一定の時間使用していない状態が続くと、コンピューターが省電力モードまたは「スリープ」モードに切り替わります。また、エネルギースタープログラムの認定を受けた外部ディスプレイを接続して電源管理機能を使用する場合、この機能では、ディスプレイの類似の電源管理機能もサポートされます。この機能を活かすには、ユーザーはエネルギースター認定のコンピューターおよびディスプレイで提供されている電源管理の初期設定を使用する必要があります。システムが外部電源で動作している場合は、この電源管理の初期設定によって、エネルギースター認定のコンピューターが以下の動作を行うように設定されています。

- 無操作状態が続くと、15 分後に外部ディスプレイの電源がオフになる
- 無操作状態が続くと、30 分後に省電力のスリープモードを開始する

ユーザーがコンピューターの使用を再開した場合は、エネルギースター認定のコンピューターでは省電力のスリープモードを終了します。また、エネルギースター認定のディスプレイでは操作を再開します。これには、ユーザーが電源/スリープボタンを押した場合、入力デバイスから入力信号を受信した場合、有効になったウェイクオン LAN（WOL）機能を使用してネットワーク接続から入力信号を受信した場合などがあります。

エネルギースタープログラムの環境への貢献、電源管理機能によるエネルギー消費および経費の節減の可能性について詳しくは、EPA のエネルギースターの電源管理に関する Web サイト（http://www.energystar.gov/powermanagement/、英語サイト）を参照してください。

化学物質

HP では、REACH（Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and Council）などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、http://www.hp.com/go/reach/（英語サイト）にアクセスしてください。

HP リサイクルプログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。リサイクルプログラムについて詳しくは、http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp を参照してください。

製品の部材表示について

日本における製品含有表示法、JISC0950, 2008 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、http://www.hp.com/go/jisc0950/（英語サイト）を参照してください。